

人権  
まんが

# 未来ちゃん

第60回 自分自身の可能性を信じて

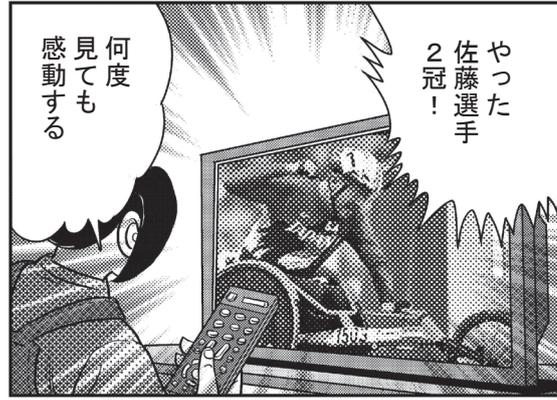
## 人権まんが解説

9月に開催された東京パラリンピックで佐藤友祈選手が車椅子（レーサー）の陸上競技で金メダル2つを獲得して活躍されました。

昨年初見小学校で開催した、人権スポーツふれあい教室に佐藤選手は、自ら車を運転して来られました。また、多少の段差であれば、車椅子で乗り越えることも可能でした。しかし、会場であった体育館の入口の階段は、何段か有り、車椅子が転倒する危険があるため、マネージャの補助を必要とされていました。

車椅子の人は、生活の中で、路上の違法な自転車の駐輪や、バスや鉄道など乗り降りでの段差、踏切等、街中での不便な障害を多く感じています。障がい者の「障害」であるものを取り除くことには、誰もが事故や病気や高齢者になって、車椅子の生活になる可能性がある社会の中で、より安全で快適な暮らしをするためには必要なことです。もし車椅子の人が、街中でいろいろな障害に、困っていたら手を差し伸べてください。

共に助け合いながら「障害」を取り除く行動を起こしていくことで、世の中の「心のバリアフリー」も目指します。あらゆる「障害」のない社会になったときに初めて、真の「共生社会」になったと言えるのではないのでしょうか。



吉田文化会館だより ②